

「サプリメントの有用性と危険性」 薬剤師の学会で始めて論議

この程神戸で行われた「第13回日本医療薬学会年会」において、ケミン・ジャパン株式会社(東京都港区)と株式会社光洋商会(東京都中央区)は、「医療における健康補助食品の有用性と危険性」をテーマとするランチョンセミナーを開催しました。薬剤師、薬学研究者を中心に構成される同学会において、健康補助食品の摂取(サプリメント)に関する正しい情報提供を提唱したのは初の試みでした。約350人が出席したこのセミナーでは、座長に北海道大学大学院薬学研究科教授の井関健氏を迎え、パシフィック・アイ・アソシエイツ所属医師のオーガスト・リーダー氏が「米国における眼疾患の治療～代替医療の効用とリスク」について、また医薬情報研究所/株エス・アイ・シーの堀美智子氏が「健康食品の活用を果たす薬剤師の役割」について講演を行いました。

リーダー氏は、ビタミンC、E、ルテインを含むカロテノイド等の「抗酸化剤」、ブルーベリーやイチヨウ葉等の「ハーブ類」を取り上げながら、眼科の臨床医としての経験から効用やリスクを検証しました。リーダー氏は、「米国では患者の約40%が、医師と相談することなく代替及び補完医療で処置を施しています。ほとんどの治療にリスクは伴わないとはいえ、中には処方された医薬品と深刻な合併症を引き起こすケースがあるので、医療従事者は正しい情報を入手し、患者に提示する必要があります。」と報告。また、加齢性眼疾患の一つである加齢黄斑変性(AMD)に対するルテイン・ゼアキサンチンの効果について紹介すると同時に、DHA、EPAなどのオメガ3系脂肪酸や、タウリンがフォトレセプター形成に重要な働きをしている点などを説明しました。一方、合成ビタミンE、合成ベータカロチンの使用、ビタミンA、ベータカロチンの過剰摂取、特定のハーブ系物質の使用方法などについて、注意の必要があると述べました。

堀氏は、サプリメントについて「効果」「根拠」「使用上の注意事項」といった情報が十分に消費者に提供されていない現状に警鐘を鳴らし、薬剤師がサプリメントに関する知識を持つ必要性を説きました。また、特定保健用食品は法的には食品であるが、作用的に医療用医薬品と類似した作用を有するものがあるため、医薬品との相互作用がないかどうかを検証する必要があるだろうと提言しました。

井関氏は両者の論をふまえて、日本において近年サプリメントへの関心が急速に高まってきていると指摘、「これが正しく利用されるためには正しい情報の流通が必要である」とし、「これまで医療薬学会の中で、健康食品についてその有用性と危険性というテーマで議論されたことはなかったが、今後薬剤師・薬学関係者が果たすべき社会的な役割として、多くの人々が関心を持っている健康食品の特性について理解をし、一般消費者に対して適切な情報を提供する必要があるだろう。」とまとめました。

なお、本セミナー出席者を対象としたアンケート(有効回答約240名)においても、「実際に患者から健康食品の使用についての質問を受けたことがある」との回答が80%以上であったことから、一般消費者の多くが健康食品の摂取に関して、薬剤師による指導、情報提供を望んでいることを示しています。

ルテインと「FloraGLO®(フローラグロー)ルテイン」について

「ルテイン」とは、脂溶性抗酸化物質であるカロテノイドの一種で、ホウレンソウやブロッコリーなど緑色野菜に多く含まれる成分です。近年の研究により、人間の眼の黄斑部と水晶体に存在するカロテノイドはルテインとその関連物質であるゼアキサンチンだけであることがわかり、ルテインは眼の働きに重要な役割を果たす栄養素として大きな注目を集めています。

ケミンフーズ社では、独自の特許製法を用いてこのルテインをマリーゴールド (*tagetes erecta*) から抽出・精製することに成功、「FloraGLO®ルテイン」として製品化しています。自然界に存在する天然のルテインと同じ成分を製品化したことは米国の独立した第三者機関によって高く評価され、FloraGLO®ルテインはGRAS(一般に安全とみなされる)物質であると認められています。同社では、日本、米国、カナダ、EU など世界 13 カ国・地域で製法特許を取得しており、すでに 120 種類以上のビタミン剤やサプリメントといった栄養補助食品、食品、パーソナルケア商品などに FloraGLO®ルテインが利用されています。現在日本でも 30 社以上がこの FloraGLO®ルテインを製品に採用しています。

ルテインに関する詳細は「ルテイン情報局」ウェブサイト <http://www.luteininfo.jp> をご参照ください。

ケミンフーズ社(Kemin Foods, L.C.)について

米国アイオワ州デモインに本社を置くケミンフーズ社は、世界 60 カ国以上で事業を展開しているケミンググループの一員として、食品や補助食品、パーソナルケア向け天然成分の製造販売を手がけるグローバル企業です。同社はアジア地域における拠点として 2000 年にケミン・ジャパン(株)を設立。国内における販売パートナーである(株)光洋商会とともに、FloraGLO®ルテインの普及活動に取り組んでいます。